

雪害時の乗員保護活動について

南 靖彦¹・松島 智也²

¹防災室（〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1）。

²災害対策マネジメント室（〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1）

近年の集中的な大雪に伴う大規模車両滞留を受けて、北陸地方整備局では、令和3年度に「雪害時の乗員保護活動計画」の策定を行った。本稿では、計画の概要および、乗員保護訓練、令和4年度に初めて実施した乗員保護活動(TEC-FORCE活動)の取り組みについて紹介する。

キーワード 雪害、大規模車両滞留、乗員保護活動、TEC-FORCE

1. はじめに

近年の集中的な大雪により、高速自動車国道、直轄国道等の幹線道路で大規模車両滞留が発生している。車両滞留による交通網の寸断は、物流や地域の生活、経済に大きな影響があるだけでなく、滞留に巻き込まれた乗員の方々の生命に危険が及ぶ可能性がある。

北陸地方整備局管内においても、令和2年12月に新潟県の関越自動車道で約2100台の車両滞留が発生し、解消までに2日間以上を要した(写真-1)。それを踏まえ、国土交通省の冬期道路交通確保対策検討委員会による「中間とりまとめ」では、人命を最優先とし、大規模な車両滞留が長時間に及ぶ可能性がある場合には、地方整備局、地方運輸局等を中心に、都道府県等と支援体制を構築し、滞留車両への各種支援を行うべきという提言がされている¹⁾。

上記を契機として、北陸地方整備局では、関係機関と協力しながら、令和3年11月に「雪害時の乗員保護活動計画」(以下、「計画」)を策定し、それに基づき支援体制の構築や訓練等を実施している。



写真-1 令和2年関越自動車道における車両滞留

令和4年12月には、新潟県長岡市と柏崎市の国道8号、17号で大規模車両滞留が発生し、関係機関と連携を図りながら計画の策定後初となる乗員保護活動を実施した。乗員保護活動では、長時間滞留した車両への食料、燃料等の支援物資配布を行った。

本稿では、令和3年度に策定を行った計画の概要および乗員保護訓練、令和4年度に初めて実施した乗員保護活動(TEC-FORCE活動)の取り組みについて紹介する。

2. 北陸地方整備局における乗員保護活動計画

令和2年に関越自動車道で発生した大規模車両滞留を受けて、関係機関と共に令和3年11月に計画の策定を行った。計画では、国、新潟県、富山県、石川県、高速道路会社が管理する道路において、積雪に伴う大規模な立ち往生が発生し、滞留車両の開放に長時間を要すると見込まれる場合、北陸地方整備局、北陸信越運輸局、道路管理者、新潟県、富山県、石川県、市区町村等の関係機関が連携し、車両の乗員保護活動を行うことを目的として定めている。

また、関係機関との連絡調整や情報共有を行うための「乗員保護活動本部」、関係機関が集まり情報共有や合議等を行う「現地調整所」の設置基準を定めると共に、各関係機関の連絡系統を整理した体系図をまとめている。

なお、計画では、乗員保護活動の実施要件として、積雪に伴い数百台規模の立ち往生等が発生し、滞留車両の開放に概ね24時間以上を要すると見込まれる場合を想定している。また、国土交通省では、上記のような立ち往生等が発生した場合において、現地で乗員保護活動に従事する職員については、TEC-FORCE活動とすることとしている。

3. 乗員保護訓練

計画では、計画の実効性を高めることを目的として、乗員保護活動本部及び現地調整所構成員の訓練について定めている。それに基づき、令和3年度から訓練に取り組んでおり、令和4年11月の訓練では、新潟県村上市国道7号において、集中的な降雪に伴い約200台規模の立ち往生が発生し、滞留車両の解放に24時間以上を要する状況を想定して、NEXCO東日本、北陸信越運輸局、新潟県、村上市、協力会社等の関係機関と共同で実施した。

訓練では、想定状況より作成したタイムラインに基づき、乗員保護活動本部、現地調整所の設置や乗員の安否確認、UAVを活用した滞留車両台数調査、各種システムを活用した現地映像の配信訓練等を行った(写真-2, 3)。



写真-2 現地調整所での訓練の様子



写真-3 乗員の安否確認訓練の様子

4. 令和4年12月の大雪の対応

(1) 発生事象

令和4年12月18日から19日、12月22日から25日にかけて日本付近では強い冬型の気圧配置となり、日降雪深が新潟県長岡市で観測史上3位、柏崎市では観測史上最大を38年ぶりに更新する等の記録的な大雪となった。それにより、滞留車両が国道8号 柏崎で約 800 台、国道8号、17号 長岡では約1000台発生した²⁾。

(2) 主な事象の時系列

長岡、柏崎で発生した主な事象および乗員保護活動の時系列について下記に示す²⁾。

12/18	16:02	大雪警報発表(長岡市、柏崎市)
12/19	3:00	柏崎周辺で集中降雪(～13:00)
	5:00	長岡周辺で集中降雪(～13:00)
	7:00	国道8号米山台～上越市境を中心に立ち往生車発生
	8:00	国道8号坂井北交差点～国道17号三仏生交差点間で立ち往生車が発生
	12:00	国道8号川崎IC以南で立ち往生車発生
	15:40	国道8号(柏崎市) L=22.05 km 通行止め開始
	19:10	柏崎市長崎江下～米山町清水間にて支援物資配布開始(～12/20 23:00)
12/20	6:00	国道8号及び17号(見附市～長岡市) L=32.7 km 通行止め開始
	16:30	見附市坂井～長岡市和南津間にて支援物資配布開始(～12/21)
12/21	6:00	国道8号(柏崎市) L=22.05 km 通行止め解除
	8:00	国道8号及び17号(見附市～長岡市) L=32.7 km 通行止め解除



写真-4 車両滞留状況(新潟県柏崎市青海川)



写真-5 本部会議の様子

(3) TEC-FORCE活動

柏崎市、長岡市での大規模車両滞留を受けて、計画の策定後初となる乗員保護活動(TEC-FORCE活動)を実施した。活動は12月19日から開始し、本局や近隣国道事務所のみならず、河川、砂防事務所からも派遣を行い、各部、各事務所の垣根を越えて乗員の方々への支援を実施した。北陸地方整備局としては、現地での活動を行った12月19日～12月21日および大雪への備えのために事前派遣を行った12月23日～24日において、TEC-FORCEとして、のべ212人を派遣した。

さらに、長岡市、小千谷市、柏崎市の沿線自治体や一般社団法人オフロードビークル協会、一般社団法人建設コンサルタンツ協会、一般社団法人建設業協会、イオン株式会社、新潟県からの災害派遣要請を受けた自衛隊等の複数の団体、企業の方々にご協力いただき、国道8、17号において滞留車両への支援物資配布を行った(写真-6、7)。

5. 令和5年1月の大雪の対応

令和5年1月24日から29日にかけて強い冬型の気圧配置の見通しとなり、新潟県、富山県、石川県の広範囲に警報級の大雪予測が気象台より発表され、12月を超える大雪への注意喚起が行われた。このことから、円滑かつ迅速な乗員保護活動の実施に備え、富山県、石川県、新潟県にTEC-FORCEの事前派遣を決定し、1月23日～1月29日の5日間で、のべ160人を派遣した(写真-8、9)。

6. 今後の取り組み

近年の降雪状況より、管内において再び昨冬のような大規模車両滞留が発生する可能性も考えられる。令和4年度の活動実績を踏まえ、計画や支援体制の改善を図ると共に、引き続き関係機関と連携を図りながら、大規模車両滞留時における乗員の安全確保に努めて参りたい。

謝辞：昨冬の大雪対応の際に、ご協力いただいた関係者の皆様に、本紙面をお借りして感謝申し上げます。また、今冬においても、有事の際は引き続きお力添えいただけますと幸いです。

参考文献

- 1) 冬期道路交通確保対策検討委員会：大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ、<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/toukidourokanri/pdf/t02.pdf>, 2023年7月19日閲覧。
- 2) 令和4年度新潟県内の冬期道路に関する対策検討会事務局：令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪に関する検証について、https://www.hmr.mlit.go.jp/chokoku/file/oshirase/230124_130.pdf, 2023年7月10日閲覧。



写真-6 協定に基づく支援物資運搬(イオン(株))



写真-7 協定に基づく支援物資配布
((一社)オフロードビークル協会)



写真-8 TEC-FORCE出発式(令和5年1月の大雪)



写真-9 資材積み込みの様子(令和5年1月の大雪)